

TETTO COLUMN ～館長のつぶやき～

「皆さまからのご意見 その2ー広報編」 2023/8 「RE:TETTO」 No.68

当館ではアンケートなどを通じて、皆様からのご意見を伺っています。今回は「広報」について。TETTOは様々な方法で、主催事業の宣伝（広報）を行っています。しかし「演奏会があることを知らなかった」「素晴らしいコンサートなのにお客さんが少なくもったいない（宣伝がたりないのでは?）」という感想やご意見をいただくことがあります。TETTOとして必ず行っているのは月2回全世界に配布される「広報かまいし」への掲載。広報かまいしをご覧になれば、当ホールの主催事業はほぼ全て掲載されています！また新聞のチラシ折込、ホームページやSNS（フェイスブックやインスタグラム）によるWEBでの情報発信、テレビやラジオでのCMも大きな催事のときは行っています。これからも市民の皆様に見つけていただけるような広報を心がけていきますので、目に留まりましたら、足繁くTETTOにご来館ください！



「皆さまからのご意見 その3ー事業編」 2023/9 「RE:TETTO」 No.69

釜石市民ホールでは年間約30件のホール主催の事業を行っています。この数の多さに驚かれる方もいるかもしれませんが、実はTETTO館内で行う事業のほかに、公民館や学校などに出向いていく「アウトリーチ」という事業やワークショップ（体験講座）等も中には含まれています。そして事業へのご意見は、アンケート等を通じて皆様よりいただいております。ご希望の多い公演は劇団四季などのミュージカル。他にもNHKのど自慢や有名歌手のコンサート、お笑いライブなどなど。みなさまのご希望する公演を、できれば実現させたいとは思っているものの、ホールの規模や手持ちの資金では難しいものなどがあり、さまざまな関係する補助金や助成金などを獲得する努力もしながら、皆様のご要望に少しでも応えられるよう、事業担当者は日々努力を重ねております。



ワークショップ夏休み工作ひろば

「見学・視察 大歓迎！」 2023/10 「RE:TETTO」 No.70

釜石市民ホールでは、随時無料でホールの見学や視察をお受けしています。2017年12月開館以来、これまでにたくさんの学校・団体・個人の方々にお越しいただいています。毎年必ず来てくれるのが市内の小学校の2年生。街歩きの学習の中で、先生と一緒にホール内を探検していきます。また視察や見学で一番多いのは、大学で建築を学んでいる学生さんや建築関連の企業の皆さんです。グッドデザイン賞も受賞した機能やデザインで注目を集めるホールですので、どこからともなく情報を聞きつけて皆様来てくださるようです。そして今年は何と台湾の建築・デザイン関連の専門家30名にも来ていただきました！私たちホールスタッフも、できるだけ丁寧な説明・ご案内を心がけて、皆様にご満足いただけるような対応をいたしますので、どうぞお気軽に視察・見学のお問い合わせをいただければと思います。



「ワークショップって何？」 2023/11 「RE:TETTO」 No.71

皆さん、「workshop(ワークショップ)」という言葉をご存じですか？「作業場」というのが本来の意味ですが、近年では「体験型講座・セミナー」という意味で使われることが多いですね。TETTOでも鑑賞事業のほかに、事業に関わる作家さんや出演者の方々をお願いして、市民参加方のワークショップを実施しています。これまでは、子供向けの創作活動、切り絵講座、スマートフォンの上質な撮影方法、ピンホールカメラの製作と撮影、ピアノの解体ショーなど、さまざまなジャンル、そして幅広い層を意識して企画してきました。一番近いところでは12月にTETTOで公演を行う俳優の西村まさ彦さんをお招きし、演劇体験ワークショップを開催しております。小さな事業ですが、これからも皆さんが「ワクワクしそうな」ワークショップを展開していきたいと思っています。乞うご期待！



ピアノの解体ショー(2023年9月)